

国立大学法人 筑波技術大学
保健科学部 保健学科

鍼灸学専攻の案内

Course in Acupuncture and Moxibustion

鍼灸あん摩マッサージ指圧

国立大学法人 筑波技術大学
保健科学部 保健学科 鍼灸学専攻

鍼灸学専攻の案内

Course in Acupuncture and Moxibustion

鍼灸あん摩マッサージ指圧

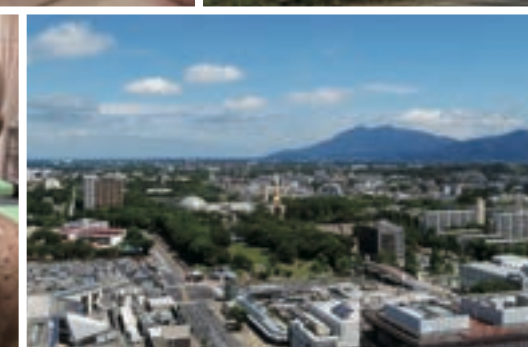
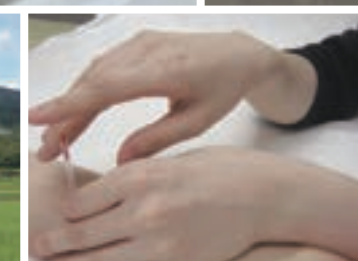
● 連絡先

〒305-8521 茨城県つくば市春日4-12-7
<https://www.k.tsukuba-tech.ac.jp/am/>

● お問い合わせ

入試関係 視覚障害系支援課 教務係
TEL 029-858-9507～9509
FAX 029-858-9517

● 鍼灸学専攻Webサイト



鍼・灸・あん摩マッサージ指圧の概要



鍼・灸・あん摩マッサージ指圧は、人の健康に 役立つ治療法として注目されています

● 少子高齢化、多様化する価値観、新しい生活様式への変容が進む現在、国民一人ひとりが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくとともに、年齢や障害の有無などにかかわらず、安心して暮らせる共生社会を実現することが重要視されています。

● 超高齢化社会、生活習慣病の増加、ストレス社会と呼ばれる現代において、慢性的な痛みや疲労感を抱えている人々が増えています。

● 人生100年時代と言われる昨今、心身ともに自立し、健康寿命を伸ばすことへの関心が年々高まっています。健康寿命を伸ばすため、日々の意識的なケアがとても大切です。鍼・灸・あん摩マッサージ指圧は、人の健康に役立つ医療の一つです。

● 鍼・灸・あん摩マッサージ指圧は、視覚に障害を有する方の就く職業の中でも、最も社会的自立に結びつきやすく、現代人からのニーズが非常に高い職業です。

世界で注目される 鍼灸マッサージ

今、鍼灸あん摩マッサージ指圧は、予防医学、ペインクリニック、美容、スポーツ分野など、様々な分野で活用されています。鍼灸あん摩マッサージ指圧の効果やメカニズムが、現代科学により解明されつつあり、特に鍼灸は、日本のみならず世界中で用いられ、欧米などでは、新しい治療法として注目されています。

鍼灸あん摩マッサージ 指圧の魅力

鍼灸あん摩マッサージ指圧は、多様な価値観が共存する共生社会の中で、オーダーメイドに治療ができます。痛みの緩和や疲労の早期回復を促すことができ、人々の心身ケア・健康保持増進などの役割が期待されています。現代医療と比べ、安全で副作用が少なく、体に心地よい刺激を与え、様々な疾患や病気の予防や治療を行います。症状の原因を突き止めて、一人一人の体質に合ったからだにやさしい治療を提供します。

鍼灸学専攻が 目指すもの

東洋医学と西洋医学の良いところを合わせた『統合医療』を実践する本学では、鍼灸あん摩マッサージ指圧が「なぜ効くのか」を科学的に解明するべく、教員たちが研究に取り組んでいます。また、研究の成果を教育に反映させ、東洋医学と西洋医学の両方の見識を有する、未来に羽ばたくスペシャリストを育成しています。

鍼灸学専攻の特色

共生社会で活躍する鍼灸マッサージのスペシャリストを育成するために、
本学ではさまざまな面から教育環境の充実に力を注いでいます。

全国平均を 上回る**合格率**

3年次より国家試験対策講義
を開設し、国家試験合格に向
け担任や教科担当の教員が指
導にあたり、全国平均を上回る
合格率を維持しています。

3つの 国家試験 受験**資格**

鍼灸学専攻では「はり師」、「きゅう師」、
「あん摩マッサージ指圧師」の国家試験
受験資格を同時に取得できます。

少人数教育の充実

鍼灸学専攻では、学生一人ひとりが必要な能力を身に付けられるよう、個々の障害に配慮した教育環境を整備するとともに、視覚障害に配慮した情報保障を提供しています。また、少人数教育の利点を生かし、能動的に学ぶことができるアクティブラーニングを実践できるように授業の工夫を行っています。



1:1 アカデミック アドバイザーが 一人ひとりを**サポート**

学生の自主性を重んじる一方で、一人ひとりの学生に対して教員がアカデミック
アドバイザーとして、授業科目の選択や学修の仕方などのアドバイスをして学生を
しっかりサポートします。履修面だけでなく進路や生活全体の相談までできる安
心の環境が整い、視覚障害を有する学生にとって心強い制度になっています。

2年次 編入制度と3年次 編入制度

視覚特別支援学校理療科等を卒業したあん摩マッサージ指圧師・
はり師・きゅう師の方を対象とした3年次編入制度を設けています。
また、編入生のための特別プログラムを設定しており、免許保有の
メリットを最大限活用し、大学附属の東西医学統合医療センターで
の臨床に参加し、臨床経験を積みながら、幅広い知識や技術を学ぶ
ことができます。また、大学卒者やあん摩マッサージ指圧師を有す
る方を対象とした2年次編入制度も設けています。

充実した2つの 臨床**実習施設**

東西医学統合医療センターにおいて教員や臨床ス
タッフとともに患者に寄り添いながら、臨床の実践に
触れ、臨床現場で活躍するために必要な専門的な知
識と技術の習得します。習得した知識や技術を活か
し、手技鍼灸実習棟での臨床実習において、教員の指
導のもと、近隣住民の方々に対して学生が自ら施術を
行います。

2年プラスで 大学院への 進学も可能

さらにより深く質の高い鍼灸マッサー
ジについて学びたい方に対して、大学
院技術科学研究科保健科学専攻 鍼
灸学コースを開設。鍼灸マッサージ
の最先端の研究に触れながら、自ら
学び続ける力や、課題を発見し解決
していく力を身につけます。

特徴ある授業の紹介

●社会に貢献できる先駆的な人材を育成することを教育的使命とし、幅広く豊かな教養と、鍼灸マッサージの高い専門技術と知識を通じて、人の健康を守り、社会で活躍するスペシャリストの育成を目標としています。

●東洋医学と西洋医学の両視点を兼ね備えた高い専門性を教育し、医療をはじめ保健分野、介護分野で貢献できるスペシャリストを育成しています。卒業時に、国家資格であるはり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師の受験資格が得られます。

1 年次

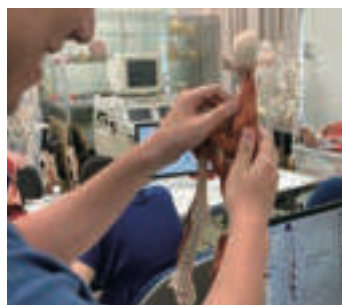
学修に必要な「基礎力」を身につけ、学びの意欲を高める。



修学基礎A/B

●社会で役立つ教養と人間性を培う

社会人として必要な幅広い教養を身につけ、豊かな人間性を培います。音声読み上げソフトなどのIT技術を活用し、学修に必要なパソコンスキルを習得し、学びの意欲を高めます。また、本学に特徴的な「視覚障害学」に関する科目を通じ、自身への理解を深め、共生社会で活躍できる人間性を培います。



解剖学・生理学

●人体の機能と構造を知り、身体の仕組みを学ぶ

鍼灸マッサージの専門知識を支える解剖学や生理学などの基礎医学を通して、身体の構造や仕組みなどについて学修します。基礎医学に関する知識が体験的に身につくよう学生参加型の実習を含めた内容になっています。本科目は、解剖学や生理学の分野で高い専門性を持つ教員が担当します。

2 年次

東洋医学・西洋医学の専門領域に足を踏み入れ、学ぶ楽しさを味わう。

東洋医学臨床論

●東洋医学・西洋医学を統合した治療方法を身につける

東洋医学と西洋医学の知識・技術を統合し、適切な鍼灸手技臨床能力を養います。西洋医学に基づく治療としては、病態に応じた筋肉・神経・治療部位を示し、エビデンスを重視した治療法を学びます。東洋医学に基づく治療としては病因病機に基づき弁証し、選穴・配穴できる力を養います。

臨床医学診察法演習

●身体の検査や診察法を医師から実践的に学ぶ

現代医学に必要な医療面接ならびに理学的検査について学びます。病歴の取り方、神経学的検査など身体の様々な検査や診察の進め方について実践的に学修します。本科目は豊富な臨床経験を有する医師が担当します。



3 年次

東洋医学や西洋医学の基礎的知識や基礎的技術を活かし、鍼灸マッサージの臨床に役立つ応用的な知識や技術を身につける。



マッサージ基礎実習

●アロマオイルを用いたマッサージやスポーツマッサージの技術を習得
マッサージの基礎的な専門知識を理解し、臨床に必要なマッサージの基本となる技術を修得します。少人数制を活かしたきめ細やかで質の高い指導により、マッサージを適切かつ効果的に行う能力と態度を養います。

鍼灸手技応用実習

●臨床実践に役立つ鍼灸マッサージの治療技術を学ぶ

臨床実習の前段階として、現代医学的な病態把握に基づいた鍼灸、手技施術を修得します。鍼灸マッサージの臨床で遭遇することの多い愁訴に対して触診と徒手検査から施術部位を導き出し、主要な鍼灸、手技の治療技術を学びます。また、東洋医学に基づいた鍼灸、手技施術について修得します。



4 年次

充実した臨床や研究、学生生活の集大成、国家試験合格を目指しラストスパート。

臨床実習

●臨床現場を経験し、スペシャリストとして実践力を養う

東洋医学と西洋医学を統合した日本では新しいコンセプトを掲げる大学附属の医療施設で臨床実習を行います。臨床経験豊富な鍼灸学専攻教員と一緒に患者を診ることにより、実践力を養います。また、医師の診察を間近で見学し、患者さんとの接し方や病気の診かたの習得を目指します。さらに看護師や検査技師、理学療法士などコ・メディカルスタッフとのコミュニケーションを通じて医療連携の大切さを学びます。手技鍼灸実習棟での臨床実習においては、教員の指導のもと、近隣住民の方々に対して学生が中心となり、自ら施術を行います。



ゼミナール

●共生社会で活躍するために必要な力を身につける

大学ならではの科目です。基礎医学、臨床医学、鍼灸手技、健康科学等に関する高度な知識・技術の習得や研究成果のプレゼンテーションを行う活動の拠点です。この科目では、より専門的なテーマについて探求する力(専門性)、新しい知識を自らの力で創造する力(創造性)、学生の発表を中心に教員や他の学生との討論等、双方向のコミュニケーションを行う力(双方向性)、仲間と切磋琢磨しながら目標に向かって努力することにより協働する力(協力性)を養います。



教員からの メッセージ



石崎 直人 教授
ISHIZAKI Naoto

東洋医学でココロと
カラダを理解しよう

鍼灸治療は痛みやコリによく効きますが、それだけではありません。胃腸の調子や睡眠、冷え症、気分の調整など全身の体調管理にも大変有用な治療法です。私の講座では、心身の不調を東洋医学の面から理解して、臨床で活かせる技術と知識を学びます。

専門分野：鍼灸学、東洋医学、調査研究学



白岩 伸子 教授
SHIRAIWA Nobuko

神経内科学と鍼灸学の
関わりを学びましょう！

神経内科疾患の領域においては、慢性疼痛や顔面神経麻痺など神経系の様々な悩みに対して鍼灸治療の効果が注目されています。医療センターで神経内科疾患の臨床、およびそれに対応した鍼灸治療の実践について、学びましょう。また、学部では医療を学ぶ視覚障害学生への学習サポートとして、よりわかりやすい教材作りを目指して音声が付加した新規教材である「しゃべる触図教材」の開発も行っております。

専門分野：神経内科学、視覚障害教育



鮎澤 聡 教授
AYUZAWA Satoshi

統合医療の
臨床力を身につける

現代の施術者は、鍼灸やあん摩の技術のみならず、東洋医学・西洋医学を統合した知識と技術を持つことが求められます。問題解決型講義を通してそのような臨床能力を養っていきましょう。

専門分野：統合医学、脳神経外科学、視覚障害教育、医学哲学



加藤 一夫 教授
KATO Kazuo

人体解剖学と
細胞生物学研究

人体の構造と機能のうち、特に人体解剖学分野の理解を深めます。細胞生物学分野における、培養系細胞の動き、電気刺激への応答を細胞内部の情報伝達系タンパク質の変化を最新の顕微鏡技術、遺伝子組み換え技術、PCR法などを組み合わせて細胞の活性化メカニズムを明らかにしていきます。

専門分野：解剖学、細胞生物学



志村 まゆら 准教授
SHIMURA Mayura

人体の機能を学び
物理刺激が身体に与える
影響を深く理解しよう

生理学の講義と実習を通じて、人体機能の理解を深めます。触圧刺激や鍼刺激が循環器系の及ぼす影響に関する実験研究を行っています。見学に来てください。

専門分野：自律神経生理学、理療科教育法



近藤 宏 准教授
KONDO Hiroshi

健康・スポーツ分野で
活躍できる知識や
技術を修得しよう

健康で活力ある社会を創るためにスポーツや鍼灸マッサージを通じて何ができるか？その役割や可能性について人と社会の関係を科学の視点から一緒に探究しましょう。

専門分野：マッサージ療法、鍼灸手技社会学、視覚障害教育



笹岡 知子 助教
SASAKAWA Tomoko

健康づくりの楽しさを
共に学びませんか？

鍼灸ならびにあん摩マッサージをはじめとする手技療法は、東アジアだけでなく欧米でも受け入れられ、臨床および研究が活発に行われています。これら鍼灸・手技の面白さを講義や実習で学ぶと同時に、伝統東洋医学が受け継いできた、食事やそのほかの健康法といった健康づくりの知恵についても共に学んでみませんか。

専門分野：鍼灸、伝統医学、薬膳



福島 正也 講師
FUKUSHIMA Masaya

ICT(情報通信技術)で
鍼灸マッサージを変える

私はICTの鍼灸マッサージへの応用について研究しています。主に、視覚障がいのある鍼灸マッサージ師の臨床や教育に役立つアプリ開発を通じ、より科学的・効果的・効率的な治療や学びの実現をめざしています。伝統的な医療と先進的な科学の融合は、新しい形の鍼灸マッサージ治療を生み出す可能性を秘めています。

専門分野：ICTの鍼灸あん摩マッサージ指圧への応用



松田 えりか 助教
MATSUDA Erika

視覚障害教育を考える

日本の視覚障害教育や理療教育のあり方を、世界の視覚障害教育をも視野に入れながら皆さんと一緒に広く実践的に考えていきたいと思います。

専門分野：視覚障害教育研究、慢性疼痛の鍼灸治療

東西医学統合医療センター(鍼灸部門)教員



櫻庭 陽 准教授
SAKURABA Hinata

医療施設でしか
得られない発見や
学びを共有しよう！

医師や理学療法士等と協働する臨床施設の特長を生かし、鍼灸マッサージの臨床効果を科学的に捉えるとともに、地域医療・福祉への応用的活用、視覚障害者のリカレント教育の実践・研究を推進しています。

専門分野：臨床鍼灸、血液透析、健康運動・スポーツ、地域医療・介護、リカレント教育、障害科学



成島 朋美 助教
NARUSHIMA Tomomi

鍼灸マッサージの
楽しさを追求しよう！

東西医学統合医療センターには視覚障害の有無によらず、卒業臨床研修を希望して全国から鍼灸マッサージ師が大勢集まり、臨床の楽しさや苦勞を分かち合いながら切磋琢磨しています。センターでは多職種連携の中での鍼灸マッサージ師の役割を体感することが出来ます。また、音声対応の医師電子カルテや施術評価アプリなどを備えて視覚障害スタッフの臨床をサポートしています。一緒に患者さんを笑顔にできる治療家を目指しましょう。

専門分野：鍼灸手技学、視覚障害教育、卒業臨床教育